

報道関係者各位

2025 年 4 月 30 日
トルコ共和国大使館 文化観光局

世界遺産アヤソフィアの象徴「巨大ドーム」の改修 未来へつなぐ大規模修復プロジェクトが始動



アヤソフィア

世界的な文化遺産であるイスタンブルの「アヤソフィア・グランド・モスク」は、約 1,500 年にわたって人々に親しまれてきました。現在、この歴史的建造物を次の世代に残すため、これまでで最も大規模な修復プロジェクトが行われています。その中心となるのが、建物の象徴である「巨大ドーム」です。長い時を経て崩れない強さと、美しさを保つため、ドームの補強と修復が本格的に始動しました。

「アヤソフィアの王冠」を未来へ——大ドームの耐震補強とモザイク保存に本格着手



アヤソフィア

アヤソフィアでは、トルコ政府が進める文化遺産保全プロジェクトの一環として、文化遺産の持続可能性を確保するために、数多くの考古学的発掘や修復作業が行われています。

この3年間にわたる大規模な修復と強化作業が進行中で、すでにいくつかの工程は完了しており、現在は、アヤソフィアの中でも特に象徴的な「巨大ドーム」の修復に力が注がれています。

今回の作業では、ドームを大地震にも耐えられる強さにする一方で、内部に残る歴史的なモザイク画を守ることに重きが置かれています。そのため、作業はすべて外側から行われ、内側への影響を最小限に抑えるよう工夫されています。

まず、ドームの外側を覆っている鉛のカバーを取り外し、状態に応じて修理または新たなカバーへと交換。作業期間中は、鋼鉄製の仮設構造と高品質の保護シートでドーム全体を覆い、風雨や気温の変化から守ります。また、ドーム内のモザイク画の保存作業も同時に進められるため、内部には高さ 43.5 メートルの足場が設置される予定です。この足場は 4 本の柱で支えられ、礼拝など日常の宗教的機能を妨げることなく、作業が安全かつスムーズに進められるよう設計されています。

さらに、安全かつ効率的に作業を進めるため、東側には高さ 41 メートル、アームの長さ 60 メートルの専用クレーンが設置される予定です。このクレーンはアヤソフィアの構造に合わせて特別に設計されており、建物に適切な距離を保ちながら、安全に操作できるようになっています。大ドームやモザイク、ミナレット（尖塔）などの修復作業がすべて完了した後は、仮設の鉄骨カバーや足場、クレーンなども順次撤去される計画です。

今回の修復プロジェクトは、いくつかの段階に分けて進められており、これまでもスルタン・メフメト 3 世、セリム 2 世、ムラッ3世の霊廟（れいびょう）や、かつて子どもたちが学んだ「スイビヤン・メクテビ（初等学校）」、礼拝時間を測るための「ムヴァッキターネ（時計部屋）」といった施設の修復が完了しています。

また、これまで一般公開されていなかったギャラリーフロアも清掃・整備が行われ、現在は見学が可能となりました。敷地内にあるすべての建造物は 3D スキャンで詳細に記録され、デジタル上にバーチャルモデルが作られています。

こうした包括的な修復プロジェクトを通じて、アヤソフィア・グランド・モスクは、創建当時の姿を可能な限り残しながら、未来へとその価値を受け継いでいくことを目指しています。

アヤソフィア——古代帝国が息づく歴史のシンボル



アヤソフィア

アヤソフィアは、1985年にユネスコの「イスタンブール歴史地区」として世界遺産に登録された、まさに歴史を象徴する建築物です。およそ1,500年前、もともとはキリスト教の大聖堂「聖ソフィア大聖堂」として建てられ、当時のキリスト教世界において最も重要な教会のひとつとされていました。

その後、オスマン帝国のスルタン・メフメト2世によってモスクへと転用され、内部にあった金色のモザイクやフレスコ画の上には、精緻なイスラム文様が施されました。時代とともに4本のミナレット（尖塔）も追加され、現在の姿へと近づいていきます。

中でも注目されるのが、スルタン・セリム2世の時代に建てられた西側の2本のミナレットです。これらは、オスマン建築の巨匠・ミーマル・スィナンによって設計・建設されました。セリム2世はミナレットの建設とあわせて、当時すでに構造に劣化が見られたアヤソフィア全体の修復もスィナンに命じました。スィナンはミナレットの施工と並行して、建物に耐震補強を施し、外壁に控え壁（バットレス）を加えるなど、建物の寿命を大きく延ばすための重要な工事を実施。その成果により、アヤソフィアは数世紀にわたる大地震にも耐え抜くことができたのです。

トルコについて

トルコはアジアとヨーロッパを結ぶ要所として、何世紀にもわたり文化的な交流と多様性の拠点と考えられてきました。多様な文明が反映された歴史、遺跡、自然や美食を有し、多目的なデスティネーションです。伝統とモダンが融合した芸術やファッションをはじめ、ダイナミックなショッピングやエンターテインメントライフによって世界中から訪れる人々を魅了し続けています。2024年には全世界から過去最高の6,226万人の観光客が訪れました。2023年にトルコ共和国として建国100周年、2024年には日本との外交関係樹立100周年を迎えました。

トルコの詳細は公式ウェブサイト (<https://goturkiye.jp/>) または以下のSNSをご覧ください。

Facebook: <https://www.facebook.com/GoTurkiye.jp>

X(Twitter): https://twitter.com/GoTurkiye_jp

Instagram: https://www.instagram.com/goturkiye_jp/

YouTube: <https://www.youtube.com/c/tourismturkeyjp>

トルコ観光広報・開発庁（TGA）について

トルコ観光広報・開発庁（TGA）は、国内外の観光市場においてのトルコのブランディングを確立させ、観光やビジネスにとって魅力的な渡航地としての認知を高めるため、文化観光省が定めた観光戦略や政策に基づき、あらゆるプロモーション、マーケティング、コミュニケーション活動を行っています。世界各地の現在の観光機会を促進・販売するとともに、観光の潜在的分野を発見・改善・確立していきます。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

トルコ共和国大使館 文化観光局 広報代理店

キャンドルウィック株式会社（大村）

Email: t-turkiye@candlewick.co.jp

Tel: 03-6261-6050 Fax: 03-6261-6051